

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	120-1 都市間交流推進事業(大津市との交流)	会計	01	一般会計
基本	54 地域資源を活かして、他地域と交流する	款	02	総務費
施策		項	07	総務管理費
		目	103	文化振興費
	1 地域間交流の推進	細目	01	都市間交流推進事業
		細々目	01	都市間交流推進事業
基本計画該当頁		186		行革大綱の重点事項番号
		7		
担当部課	コード	040200	評価者	森本 勝美
	名称	企画振興部文化国際課	氏名	連絡先
				22 - 9624 (内線) 2120

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
市内の民謡愛好団体 大津市民連 市民夏のにぎわいフェスタ(伊賀市民打ち上げ花火大会)来場者 (※対象件数)	芭蕉ゆかりの地との交流を広げることができる。
根拠法令・要綱等	
開始年度	平成 6 年度
終了年度	平成 年度
事業内容	民謡若業会と比自岐音頭愛好会のメンバーの参加により伊賀市民連を結成し、びわ湖大津夏まつり江州音頭総おどりに参加した。 にぎわいフェスタに盆踊り大会を開催し、大津市民連を招待してイベントを盛り上げるとともに交流を図った。
状況変化等	平成20年度からは市民打ち上げ花火大会とともに開催している。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

年度	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容				
	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額		
進捗状況	委託 工事	報酬費		5	報酬費		5	報酬費		105	報酬費		105	報酬費		105	報酬費		105	
		旅費		11	旅費		13	旅費		12	旅費		12	旅費		12	旅費		12	
		消耗品費ほか		76	消耗品費ほか		95	消耗品費ほか		81	消耗品費ほか		81	消耗品費ほか		81	消耗品費ほか		81	
		食糧費		124	食糧費		142	食糧費		151	食糧費		151	食糧費		151	食糧費		151	
		手数料		113	手数料		187	手数料		253	手数料		253	手数料		253	手数料		253	
		傷害保険		12	傷害保険		13	傷害保険		16	傷害保険		16	傷害保険		16	傷害保険		16	
		委託料		142	委託料		142	委託料		150	委託料		150	委託料		150	委託料		150	
		機械器具借上料等		80	機械器具借上料等		90	機械器具借上料等		90	機械器具借上料等		90	機械器具借上料等		90	機械器具借上料等		90	
		自動車借上料		83	自動車借上料		84	自動車借上料		88	自動車借上料		88	自動車借上料		88	自動車借上料		88	
		進捗率(%)			Σ	646	事業費計(A)		Σ	771	事業費計(A)		Σ	946	事業費計(A)		Σ	946	事業費計(A)	
事業投入人員	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880
フルコスト(A)+(B)			3,526			3,651			3,826			3,826			3,826			3,826		

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	646	771	946	946	946
Aの財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
受益者負担					
その他					
一般財源	646	771	946	946	946
計	646	771	946	946	946
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
市民打ち上げ花火実行委員会(H19までにぎわいフェスタワーキング部会)	回	目標 5 実績 9	目標 5 実績 5	5	5
盆踊り大会出場者説明会	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1
		目標 — 実績	目標 実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
参加人数(大津市から伊賀市)	参加人数を増やすことにより、交流が広がる。	人	目標 35 実績 27	目標 35 実績 33	35	35
参加人数(伊賀市から大津市)	参加人数を増やすことにより、交流が広がる。	人	目標 35 実績 38	目標 35 実績 42	35	35

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	3	芭蕉翁生誕350年記念を契機に芭蕉ゆかりの大津市と江州音頭盆踊りを通じて交流することにより、伊賀市をPRできる。
有効性	2	松尾芭蕉を通して、大津市と伊賀市の両都市間または両市民間の友好が深まった。にぎわいフェスタの中の盆踊りで、大津市との交流が図れたが対象者が参加者に限られている。
達成度	4	計画どおり達成できた。
効率性	4	コストの削減の余地がない。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
C	現状維持	大津市は松尾芭蕉に縁の深い都市であるため交流を継続したいが、対象者の範囲が限られているため事業の見直しを検討したい。しかし、伊賀市の意向だけで交流をただちに廃止することはできないので、今後協議を行い、交流の見直しを検討したい。